

教職員対象救急法講習会



6月9日(木)14:00~15:00、教職員対象救急法講習会が体育館にて行われました。

これは、教職員一人ひとりの救急法に関する知識や対応力を高めるとともに、チームで対応できるよう目指すことを目的としています。

日本赤十字社高知県支部吉岡さんを講師にお招きし、今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、搬送法等は行わず、実技は30名で実施し、それ以外の職員の方はマスク着用の上、実技見学となりました。三課合同で行ったAED講習の体験が、いざと云う時の行動につながることを願っています。



一次救命処置 (BLS)
— 心肺蘇生(CPR)とAED —

「人が倒れている」近づくとその前に

- 周囲の安全を確認する(二次事故防止)
- 緊急通報の必要を確認する(人目がある場合は)

- 1 反応(意識)を確認する**
●顔を向けて、声をかける
- 2 協力者を求める**
●1人参加の場合は自分の位置を移動させる
- 3 呼吸を確認する**
●胸を5秒以上押さえて、顔と胸をみて、音のない呼吸があるのを確認する
●正常な呼吸がある場合は5分以内の心肺蘇生をしない
●呼吸がない場合は人工呼吸を2回実施する
- 4 胸骨圧迫を30回**
●「胸骨の下の中心」として乳首の真下で胸を2センチ押してあげる
●1分間に100回以上
●胸を完全に反動させる(胸を戻す)
●1分間に100回以上(1分間に100回以上)
●胸骨が動くように押し続ける
●呼吸を再開する
- 5 もしあれば、人工呼吸を2回**
●人工呼吸は、呼吸を再開させるために必要
●人工呼吸は、呼吸を再開させるために必要
●人工呼吸は、呼吸を再開させるために必要
- 6 メッセージに従ってAEDを使う**
●AEDのメッセージに従ってAEDを使う
●AEDのメッセージに従ってAEDを使う

STEP 1 電源を入れる
STEP 2 「電極パッドを貼付してください」
STEP 3 胸骨圧迫と人工呼吸のくり返し
STEP 4 「電圧ショックが必要です」
STEP 5 「心電図を解析中です」
STEP 6 以降もAEDのメッセージに従う

日本赤十字社
Nippon Red Cross Society

